



# “一丁啮”<sup>いっちょかみ</sup>が行く!

第85回：磁気テープ

今年の1月末、3/6に開催するおふちヨ SpringParty の打合せにお世話役数名とハイアットリージェンシーに行ったときのこと。私「マジックショーをしてくれる方がいらっしゃるのですが、バックミュージックは何か用意してもらった方がいいですか?」ホテル担当者「そうですね、なにか音源を持ってきていただいたら、流しますよ」

私「そしたら、カセットを持ってきてもらうように言いますわ」

一同「え〜〜〜っ! カセット!! そんな今どき、カセットなんて…… MD か CD でしょ。カセットっていつの時代ですかあ」と、みんなから笑われてしまいました。そんな言われても(>\_<)、カセットテープって時代遅れなんですかねえ(^\_^;

と思っていたら、『カセットテープが今復活し NASA や Google など使われ始めているらしい』という記事が飛び込んできました。ネットで調べて見ると、出てくる出てくる……。

《(磁気)テープのいちばんのメリットとは、安価であるということ。ディスク装置は常に高回転している。テープは、使用しない時は、電源を消費しない。つまり、電源をとめておける。長期で安価にデータを保存する意味では、今、マーケットで非常に需要が高まっている》《大量のデータを記録する磁気テープを作る技術を持つのは、日本だけです。富士フイルムではいったん、磁気テープが廃れたあとも、地道に研究を続けてきました。その結果、7年前、性能を大幅に伸ばす技術を確立しました。新しい磁気テープは、1本でDVD500枚分という、大量のデータを記録できるようになっているんです》《磁気テープは持ち運びが簡単で、他の記録メディアに比べコストが安い。目的のデータを探す時間は遅くなるが、大量のデータを移し替えるスピードは速く、停電でもデータは失われないなどの特性がある。震災後、全国の自治体や企業では大災害後も仕事を続けられるようにデータのバックアップ用として優位性を評価しているようです》

へえ……、なるほどねえ。自分で焼いたDVD-Rの寿命は3年くらい、ハードディスクも5年くらいだそうですので、カセットテープで保管しておくのがいいかも。学生時代から集めた落語のカセットテープを100本以上持ってます。CDに移そうかと思ってましたが、やめときましょう(^o^)



## のほそ道

☺シリーズをご活用いただいているいろいろなお客様を尋ねて感じたことや学んだことを徒然なるままに……

皆さん、朝夕はまだまだ爽やかですが、日中はかなり暑くなってきましたね!

私、「**🍷**」もシスポートポロシャツを着て元気に走り回っております!



さて、今回は「**お線香**」についてです♪ 「虫除け線香」

販売管理システム『**🍷**sp』をご導入戴くことになった会社さまに伺いました。主に業販をメインに店舗展開されています。

『**🍷**』の操作説明をさせて戴いていると、とっても気になる商品ポップを見つけてしまいました・・^^;

「ボケ線香にボケ台ってなんや? どういう意味? 煙がボケてるんか?」気になって仕方がない「**🍷**」は、早速社長にお聞きしました。

「(京都の)中央市場の近くでお店をしていると、魚屋さんからのお問い合わせが多いんですよ。」

“(虫除けの)ボケ線香とボケ台ないか?”って聞かれます。だから、置いているんですよ。」

なるほど! 虫除けの線香なんですね! なにやら、除虫菊の成分で作られてるとか。形状は、太い棒状です。魚屋さんでは昔から利用されていたそうです。

「そやけど、なんでボケ線香って言うんですか?」これにはさすがの社長もご存じなかったようで「昔から言うてるし、考えたこともないですね(笑)」

会社に戻ってから「**🍷**」は調べてみました! でも、どこにも由来はありません…… 唯一、載っていたのは「棒形線香がなまって、ボケ線香と呼んでるらしい」ということでした・・ほんまかな?

真相は全くわかりませんが、少なくとも煙がボケてるから? ではなさそうす^^;

名前の由来をご存じの方が居られましたら、ぜひ教えてください!

休日にボケ〜っとしているのは得意な? 「**🍷**」でした!



# 読者 訪問



第65回

お伺いした会社 有限会社 三恵熱錬  
 お話を伺った方 代表取締役 九埜 修三 様、取締役専務 九埜 嘉伸 様  
 事業内容 金属加工（熱処理）業  
 会社の所在地 〒582-0022 大阪府柏原市国分市場 1 丁目 10-46  
 連絡先など TEL:072-977-8195 FAX:072-977-8193  
 U R L http://http://www.sankei-heat-treatment.com/

今回は特殊な熱処理をなさっている三恵熱錬様をお訪ねしました。九埜社長とご子息の九埜専務が対応して下さいました。

お仕事は素人的に簡単に言うと、薄板バネなどの金属材料を焼き入れする熱処理をなさっておられます。



工場の外観



オーステンパ炉がある工場の様子



炉の出口の様子

作業基準書の管理はできなかった」と『B&B』の活用にご満足いただいております。

オーステンパーという技術はまだ海外ではできるところが少ないらしく、自動車生産が盛んなタイなどへの進出も視野に入れておられるとか。そして『B&B』をご活用いただきながら全国的に見ても稀有な技術の強みを活かして、ますます発展されますことをお祈りしております。



九埜社長

“焼き入れ”… わたし的にはなんだか懐かしいフレーズです。学生時代、「金属を熱してそのまま冷ますのではなく、水につけて急速に冷やすと硬度が増す。このことを焼き入れといい刃物などの製造過程で使われる」と習ったような気がします。

刃物やバネなど鋼（ハガネ）の用途は多く、特に自動車や電化製品ではいろいろなハガネが大量に使われています。

しかしながら、一般的には金属は加熱することで変形するので精密な部品の焼き入れは難しいとされてきました。

そこで登場したのが“オーステンパー”といわれる特殊な焼き入れ技術です。加熱しても変形しにくくひずみが出にくい特殊な熱処理の加工技術。それに着目して比較的早い時期からその技術を取得されました。

オーステンパーという熱処理を行うには、設備の管理が大変難しいらしく、熱処理業者の中では現在でも関西で2社、全国でも10社程度しかできるところがないそうです。そして、最近では部品がどんどん小型化・軽量化されてきており、変形しない精密な熱処理が要求されます。この技術を使うと0.3mmの厚さのものの熱処理までできるそうです。自動車部品をはじめ小型軽量化の流れで需要は増えてきているとかで、この強みを活かした事業展開が期待できます。

そんな同社では、販売管理や会計処理には税理士さんの意向に沿ったシステムを比較的早い時期から導入されていたのですが、一つ一つ異なった精密な部品加工を要求されることから、個々に異なる手順を示した作業基準書の管理をどうするかが課題でした。

以前は手書きでなさっていたそうですが、6,000点にもものぼる部品の作業基準書の管理はコンピュータを使わないとできません。

製品名だけではわからないので写真を添付したデータベースを作成する必要性がありました。数年後に同等品の注文があったときに速やかに対処できるようにと、当社の『B&B』をベースにした作業基準書管理のデータベースシステムを構築しました。「これがなかったらとても6,000点もの

## TOPICS

小規模製造業向け

### 生産管理システム勉強会

のご案内

小規模製造業の金属加工業に特化したSimple is BESTな“受注生産型生産管理ソフト”の説明会も同時開催します。

日 時：2015年 6月18日(木) 14:00~16:00

場 所：まちの駅 クロスピアくみやま

(京都府久世郡久御山町森南大内303)

※駐車場はありますが数に限りがあります。  
 満車の場合はご容赦下さい

参加費：無 料（「ご意向・ご感想等 お伺いシート」にご記入の上、FAXにてお申し込み下さい）

受注状況や工程の進捗状況、部材の入荷状況…

**迅速**に、把握出来ていますか？

余計なことに**手間**を掛けていませんか？

効率的な管理をすることで、ムダをなくして  
 儲かる仕組みを作るためにはどうすればいいか。

